

H30 「登下校防犯プラン」にかかる通学路合同点検 <点検結果>

資料4

近江八幡市教育委員会

月日	集合時間	通し番号	小学校	通学路の危険・要注意箇所	危険箇所についての点検前の所見			点検時に確認された状況	想定される主な対策	
8/27 (月) AM 八中 校区・ 安中 校区	9:00 市役所駐車場 (警察署跡地)	1	島小	白王町東交差点地下通路 (白王町-672 付近)	2 路上に死角があり、犯罪が起きても見えにくい	3 付近に助けを求められるような住宅等が少ない		・小学校の通学路にはなっていない。 ・県が管理しており、蛍光灯が昼間から点灯している。 ・自動車も通行可だが、トンネル内で直角に曲がるため、見通しが悪い。 ・以前に、痴漢・不審者出没の情報があった。 ・少年センターのバトロールの箇所であり、中学生は信号を使っていることが多い。	・防犯パトロール(青バト)の継続 ・登下校でこの箇所を通る中学生に、信号を使うことを指導	
		2	八幡小	ひむれ乳児保育所裏道路 (出町-468-2 付近)	1 子供が一人になったときに周囲の目(人・車)が少ない			・かなり狭く、車が通り抜けることができない。(交通面では安全) ・道沿いに笹が茂る場所があり、死角が多い。	・通学路や集合場所の再設定により、一人でこの箇所を通ることが少なくなるように配慮(学校とPTAとの協議が必要)	
		3	北里小	二保橋近くの県道2号線下通路 (十王町-392 付近)	1 子供が一人になったときに周囲の目(人・車)が少ない	2 路上に死角があり、犯罪が起きても見えにくい			・トンネル内の蛍光灯は、県、入り口の電灯は市が管理しており、夜間に点灯する。 ・軽車両の通行は可能。 ・中学生も登下校で利用している。 ・不審者に注意することを喚起する看板が既に設置されている。	・防犯パトロール(青バト)の強化(コースに入れる。 ・学校が、地域(PTA)やボランティアパトロールに協力を仰ぎながら、見守りを強化する。 ・防犯カメラの設置に向けた協議
		4	桐原小	桐原橋近くのJR線路上通路 (篠原町3丁目-2-15 付近)	1 子供が一人になったときに周囲の目(人・車)が少ない	2 路上に死角があり、犯罪が起きても見えにくい	6 周囲から見えにくく、連れ込まれやすい場所がある		・河川管理のための道であり、車の通行はできない。住民の生活道路である。 ・付近のある電灯は、河川を管理している県の機関であることが予想される。 ・路切を渡らずに登校できるので、交通面では安全である。 ・柵は通学路に指定される際に設置された経緯がある。	・学校が、児童に対して複数で下校することを指導する。(当該箇所を通り放けた先には大きな団地があり、その団地から通っている児童は多い。) ・注意喚起の看板の設置
		5	桐原東小	日吉野路側の西側にあるJR線路上通路 (日吉野町-691-16 付近)	1 子供が一人になったときに周囲の目(人・車)が少ない	2 路上に死角があり、犯罪が起きても見えにくい	6 周囲から見えにくく、連れ込まれやすい場所がある		・本来は農業用水路であり、市道ではない。小学生の通学専用道路として開通したが、今は住民の生活道路となっている。中学生も登下校に使っている。 ・路切を渡らずに登校できるので、交通面では安全である。	・通路を出た先には、必ずボランティアパトロールによる見守りがある。 ・教育委員会による見守りを行う。
8/27 (月) PM 東中 校区・ 安中 校区	13:30 市役所駐車場 (警察署跡地)	6	金田小	饒神社付近 (西庄町-310 付近)	1 子供が一人になったときに周囲の目(人・車)が少ない	2 路上に死角があり、犯罪が起きても見えにくい	6 周囲から見えにくく、連れ込まれやすい場所がある	・神社の樹木が茂っており、死角が多い。 ・神社の前に見守りを行う人の小屋があり、日々、登下校時の見守りが行われている。 ・不審者に注意することを喚起する看板が既に設置されている。 ・防犯非常ボタン(トラボ)が設置されている。 ・付近に、新たな住宅地の造成が計画されている。	・見守りの継続 ・学校が、児童に対して複数で下校することを指導する。	
		7	金田小	JR線路を跨ぐ県道26号線下通路 (西庄町-584-6 付近)	2 路上に死角があり、犯罪が起きても見えにくい			・大きな跨道橋の下であり、周囲が薄暗い。 ・日々、登下校時の見守りが行われている。(見守り時に使う旗や椅子が備え付けである。) ・不審者に注意することを喚起する看板が既に設置されている。 ・防犯非常ボタン(トラボ)が設置されている。	・見守りの継続 ・防犯カメラの設置に向けた協議	
		8	馬淵小	馬淵浄水場近くJR線路上通路 (馬淵町-2359 付近)	1 子供が一人になったときに周囲の目(人・車)が少ない	2 路上に死角があり、犯罪が起きても見えにくい	3 付近に助けを求められるような住宅等が少ない		・水田の中の道であり、JR線路上以外の見通しは極めて良いが、付近に民家等は全くない。 ・街灯がない。 ・以前に、痴漢・不審者出没の情報があった。	・学校が、地域(PTA)やボランティアパトロールに協力を仰ぎながら、見守りを強化する。 ・街灯がない。 ・児童に対して複数で下校することを指導する。
		9	武佐小	友定町交差点地下通路 (友定町-494-1 付近)	2 路上に死角があり、犯罪が起きても見えにくい				・小学校の通学路にはなっていないが、中学生が登下校に利用している。 ・車の通行はできない。通路の出口付近も目が見えない。 ・入り口付近に街灯がない。	・注意喚起の看板の設置 ・登下校でこの箇所を通る中学生に、複数で下校することなどを指導する。
		10	老蘇小	石寺宮農組合農業倉庫近く国道1号線交差点下通路 (安土町石寺-2474-1 付近)	2 路上に死角があり、犯罪が起きても見えにくい				・通路の出口に街灯がある。 ・交通安全上の看板はあるが、防犯上の看板はない。 ・通路内は、壁面があるなど環境整備が為されている。 ・少年センターのバトロールの箇所である。	・防犯パトロール(青バト)の継続 ・防犯に係る注意喚起の看板の設置
		11	安土小	JR線路を跨ぐ県道201号線下通路 (安土町上豊浦1212番地2 付近)	2 路上に死角があり、犯罪が起きても見えにくい				・跨道橋下の通路であるが、周囲は明るい印象であった。 ・多くの児童が通る箇所であるため、一人になる可能性は低い。 ・不審者に注意することを喚起する看板が既に設置されている。 ・付近の信号には、日々見守りの目がある。 ・少年センターのバトロールの箇所である。	・防犯パトロール(青バト)の継続 ・見守りの継続
		12	安土小	安土山沿い道路 (安土町下豊浦-8458-2 付近) ※新しく通学路として申請された道路	1 子供が一人になったときに周囲の目(人・車)が少ない				・1名の児童が自転車ですぐ登下校する際に通っている。 ・山沿いの道であり、柵が張り出している箇所や道幅が狭くなる箇所が見られた。 ・防犯非常ボタン(トラボ)が設置されている。 ・少年センターのバトロールの箇所である。	・学校が、地域(PTA)やボランティアパトロールに協力を仰ぎながら、見守りを強化する。 ・防犯パトロール(青バト)の継続 ・通学路の再設定により、できるだけ他の児童と同じ道を通るようにする。

【危険箇所の内容】リスト	1 子供が一人になったときに周囲の目(人・車)が少ない	【想定される主な対策】リスト	1 ボランティア等による見守り活動の強化(教育委員会主催)	7 防犯カメラの設置
	2 路上に死角があり、犯罪が起きても見えにくい		2 防犯パトロール(青バト)の強化	8 歩車道の区別
	3 付近に助けを求められるような住宅等が少ない		3 警察官によるパトロールの強化	9 空き家・空き地等の管理の徹底
	4 地域環境の管理に課題がある		4 子供110番の家・車の取組の強化	10 集団登校やスクールバス、保護者等との連携等による一人区間の解消
	5 歩車道が区分されておらず、犯罪者が近寄りやすい状況にある		5 防犯灯の設置や見通しの確保等の防犯まちづくりの推進	11 通学路の再設定
	6 周囲から見えにくく、連れ込まれやすい場所がある		6 環境管理の徹底	12 その他
	7 不審者事案が多発している			
	8 灯りがなく、夜間や夕方では、犯罪が起きても見えにくい			
	9 その他			